

各 位

2012年11月7日  
株式会社大京  
東芝エレベータ株式会社

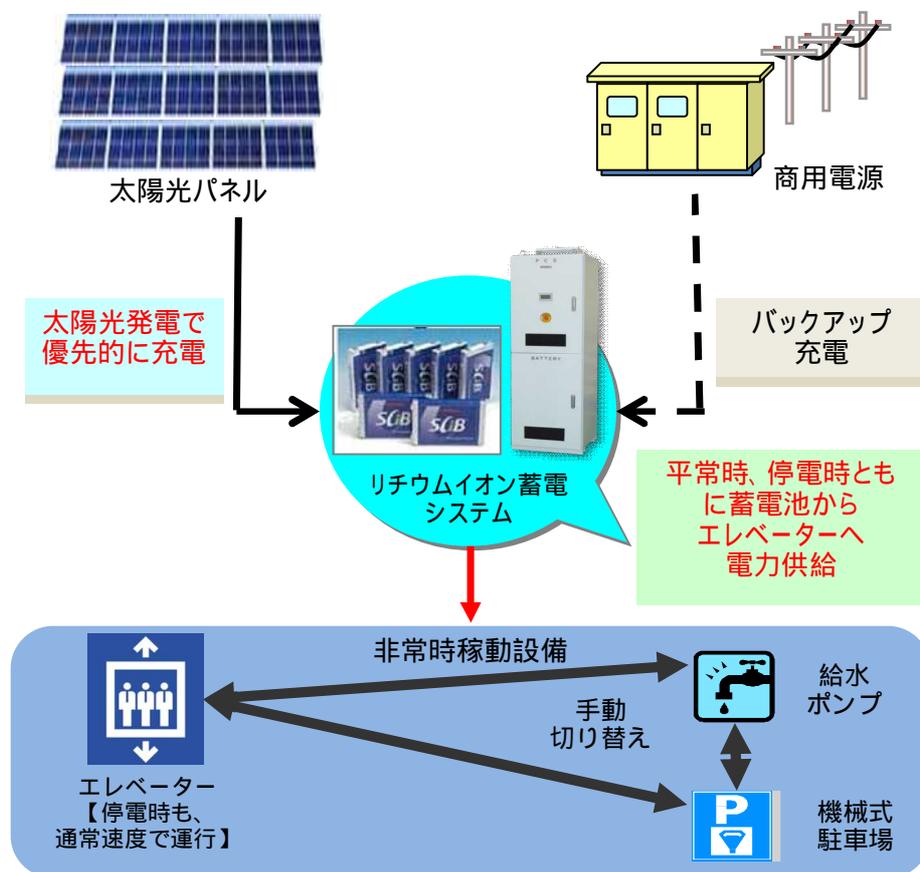
## 大京と東芝エレベータが マンション用「リチウムイオン蓄電システム」を共同開発 「ライオンズ市川妙典」に導入

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口陽）と東芝エレベータ株式会社（本社：東京都品川区、社長：秋葉慎一郎）は、新築マンション用として、太陽光発電と商用電源と連携し、停電時にも対応できる「リチウムイオン蓄電システム」を新たに共同開発し、来春販売予定の「ライオンズ市川妙典」へ初めて導入することといたしました。

### 新システムの概要

(株)大京と東芝エレベータ(株)で共同開発した「リチウムイオン蓄電システム」は、停電時でもエレベーターを通常速度で使用することができ、マンション内の移動に階段のみを利用する不便な状況を解消しました。更にエレベーターへの電力供給を手動で給水ポンプまたは機械式駐車場の電力へ切り替えて使用することが可能です。また、通常時には太陽光発電と蓄電池を連携することにより、商用電源の利用率を低減し、建物全体（共用部分）の省エネにも寄与するシステムです。

### 概念図



## 停電時の対応と通常時の省エネを実現した新システム

本システムは停電時に備え、太陽光発電と組み合わせた定置型蓄電システムを設置することで、停電が発生した場合においても、エレベーターを通常速度で運行でき、エレベーター運行時には、各階のエレベーターホールに設置する蓄電池の残量計で残量を確認できます。また、共用部照明(一部)、給水ポンプ、機械式駐車場についても、この蓄電システムから電力供給が可能です。

通常時は、太陽光発電パネルよりリチウムイオン電池に蓄電した電力と、商用電源を連携することにより建物の省エネに貢献します。蓄電池の蓄電は、昼間は優先的に太陽光発電を用いて充電します。

【 上記機能についてはエレベーター業界初となります。東芝エレベータ調べ】

### その他の詳細について

太陽光発電については全量消費方式とし、停電時も太陽光で発電した電力を蓄電池に充電することが出来ます。【種類：多結晶型、容量：10kw】

蓄電池には、安全で長寿命の東芝製二次電池「SCiB™」を使用します。

### 本システム導入物件概要

- ・ 名 称：ライオンズ市川妙典
- ・ 所 在 地：千葉県市川市塩焼四丁目2番4(地番)
- ・ 交 通：東京メトロ東西線「妙典」駅徒歩11分
- ・ 敷地面積：2,060.17㎡(実測)
- ・ 地域・地区：第一種中高層住居専用地域
- ・ 構造・規模：鉄筋コンクリート造、地上7階建て、共同住宅
- ・ 総戸数：57戸(住居57戸)
- ・ 間 取 り：2LDK+S・3LDK S=サービスルーム
- ・ 専有床面積：63.09㎡~80.39㎡
- ・ 竣 工 日：2013年11月26日(予定)
- ・ 売 主：株式会社大京
- ・ 設計・監理：株式会社三輪設計事務所
- ・ 施 工：東海興業株式会社
- ・ 販売予定時期：2013年3月上旬



「ライオンズ市川妙典」建物イメージパース

### このニュースリリースに関するお問い合わせ先

株式会社大京 広報室(今福・飯田) : 03-3475-3802  
東芝エレベータ株式会社 広報室 (井上) : 03-5423-3332